

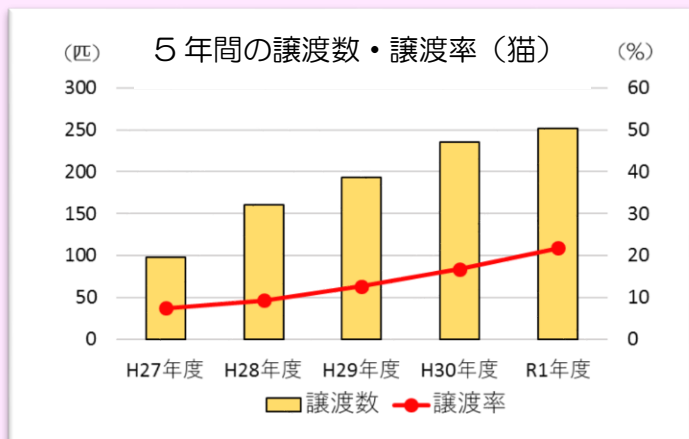
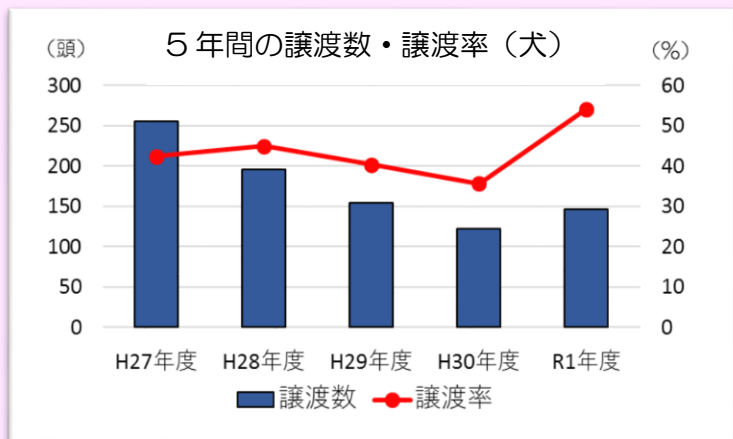
動物愛護だより vol.7

群馬県動物愛護センター 開所5周年記念号

平成27年に開所した群馬県動物愛護センター（以下センター）は、令和2年7月で5周年を迎えました。センターは動物愛護の普及啓発、動物取扱業の登録など様々な業務を行っておりますが、メインである犬猫譲渡事業では、これまで多くの犬・猫たちと出会い、新たな飼い主さんとのご縁を結ぶことができました。センターをもっと皆様にご存知いただくために、本号ではこれまでの5年間で様々なデータで振り返ります。

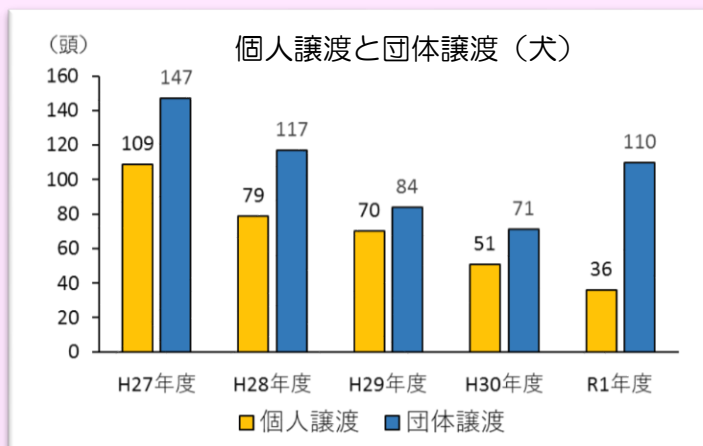
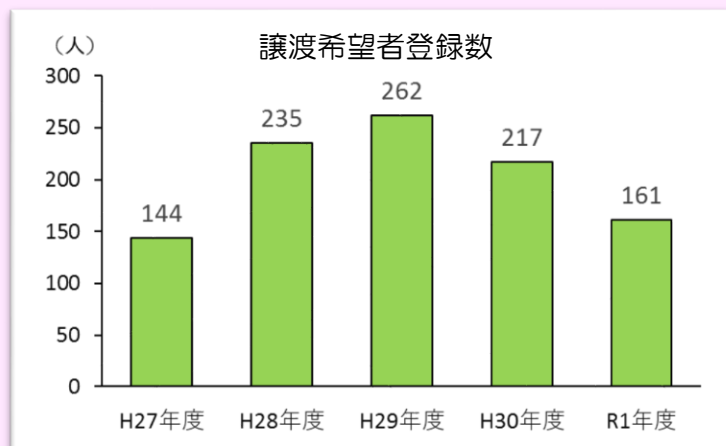
犬・猫の譲渡

これまで、1,812頭の犬・猫たちがセンターから卒業し、新しい家族のもとで幸せに暮らしています。犬の譲渡数は減少傾向でしたが、猫はセンターで助けられる子猫が増えたことにより譲渡数は増えています。



センターの犬・猫たちは、譲渡希望者として登録した方や、登録された動物愛護団体※に譲渡されています。譲渡率は上昇していますが、譲渡希望者の登録数は減少傾向にあります。犬・猫を飼いたい方に「愛護センターからの譲渡」が選択肢の一つになってほしいと思います。譲渡についての詳細は、センターホームページをご確認ください。

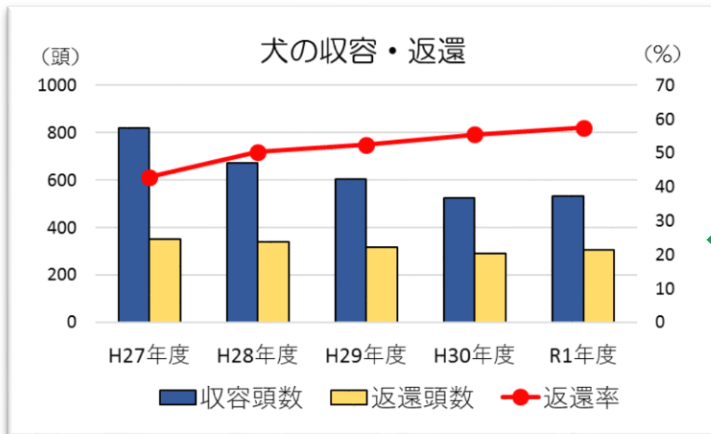
※登録団体数：13団体
(令和3年3月現在)



センターの犬たち(収容・返還・引取)

飼い主が近くにいないで迷子の犬は、センターに保護（収容）されます。センターに収容された犬を飼い主のもとに返すことを返還といいます。返還率は近年上がっていますが、収容された犬の多くは所有者明示をしておらず、飼い主が迎えに来るのを待つしかありません。

返還にならなかった犬は、譲渡適正を判断し、新たな飼い主を探します。

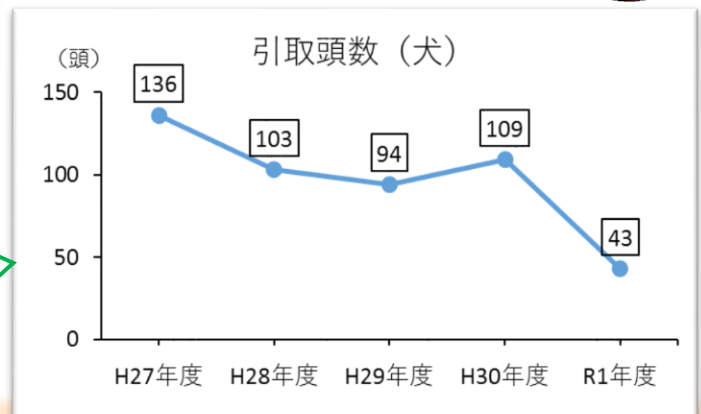


飼い犬に、鑑札と注射済票を付ける等、所有者を明示することは飼い主の義務です。たとえ迷子になっても、飼い主が分かればすぐに家に帰ることができます。

所有者明示については、愛護日より4号で特集しています。

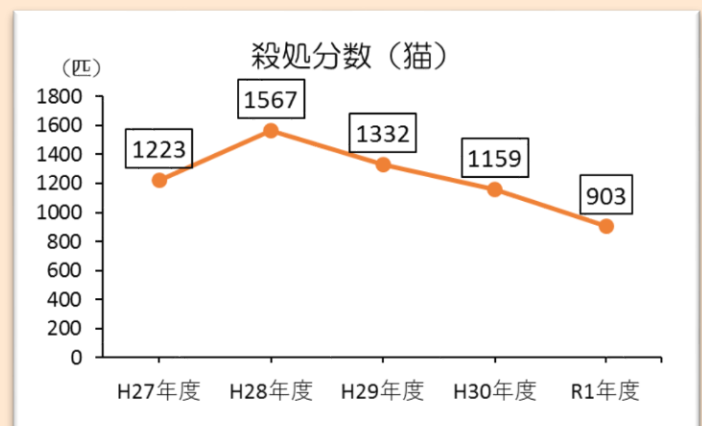
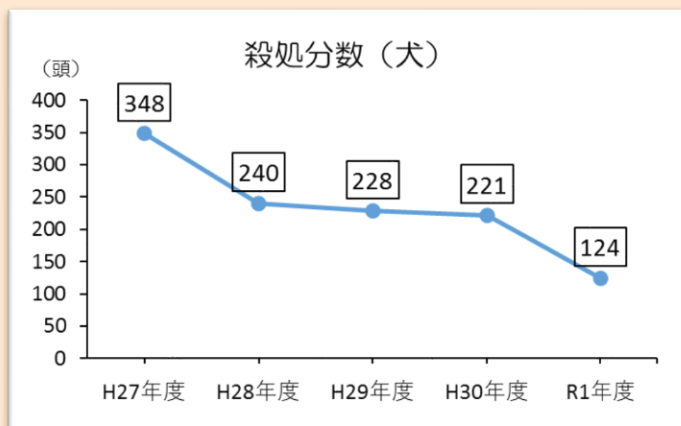


本来であれば、ペットは最後まで責任を持って飼わなければなりません。しかし、やむを得ない事情により飼いきれず、どこにも行き場がないという場合に限り、センターで引取ります。



殺処分について

重度の疾患がある、人に対する攻撃性がある等、新たな飼い主に譲渡することが困難である犬や猫は、安楽死処分の対象になります。また、センターで保護できる動物数には限りがあり、全てを助けることはできません。殺処分される猫の多くは、乳飲み子や感染症にかかった子猫です。

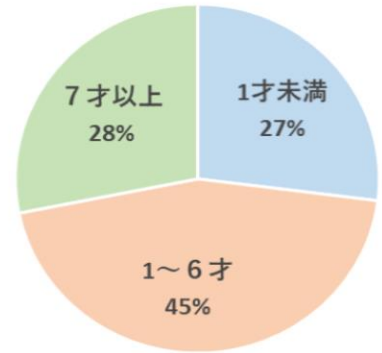


1頭でも多くの犬、猫の命を救い、殺処分をなくす、それはセンターの力だけで達成することは困難です。飼い始めたら最後まで、責任を持って飼う（終生飼養といいます）。迷子にしない。そして万が一に備え、所有者明示をしておく。これらのことは、飼い主に守っていただきたいことです。センターではこれからも、周りに迷惑をかけない飼い方（適正飼養）や終生飼養を啓発していきます。

家族になってほしいから…
もっと知ってほしい！成犬の魅力！！

子犬の譲渡を希望する方は多いですが、近年、センターに保護される子犬は少なくなっています。過去5年間でセンターから譲渡した犬のほとんどは成犬です。中でも10才以上の犬の割合は8%で、その多くは動物愛護団体へ譲渡しています。個性豊かな成犬たちを家族に迎えてみませんか。ここでは、成犬の魅力をご紹介します！

センターから譲渡した犬の年齢
平成27年度～令和元年度



もしかしてこんなイメージですか？

子犬から飼わないと
慣れないでしょ

むむっ！

もう大人だから、
一緒に遊べないん
じゃない？

ヨボヨボ

病気になりそう

躰ができなそう

長く一緒に
いられない



成犬譲渡にはこんなにいいところもあるんです！

やんちゃな子犬よりも
落ち着きがあります。
一緒にゆったりとした
時間が過ごせます。

大きさが
わかっています。

知ってた？

まだまだかまって欲
しくて、甘えん坊な子
もたくさんいます！

日中のお留守番も
できます。
(でも早く帰って来
て欲しいワン！)

最初はなつかなくても、
時間をかけて心をひら
いてくれた時の喜びが
あります。

だいたいの性格が
わかっているので、
自分に合った性格の
子を迎えられます。



成犬を迎えた方に伺いました

15年間で4頭の犬を飼う経験をしています。子犬(生後2か月)から飼い始めたのは1頭だけで、その子が15歳になる間に、それぞれ7歳、9歳、6歳で迎え入れました。子犬は人間の子供同様に食事、排泄、躰など非常に手がかかりましたが、成犬は体の機能も完成し、体質や気質が出来上がっているため、飼育しやすく、我が家のルールをすぐに覚えました。どの子も迎え入れて2週間もしないうちに、昔から家族の一員だったかのように馴染んでいました。

成犬を迎え入れるメリットは、①家族の生活スタイルを変えることなく迎え入れることができる。②体格、性格が完成しているため飼育しやすい。にあると思います。

シニア犬を迎える選択肢もご検討いただけませんか

あと数年かもしれない。でもその時間だけでも、快適なお家でのんびり暮らしたい。ゆっくり散歩して、疲れちゃった時は抱っこして欲しい。ちょっとやわらかめのご飯がいいな。そして安心して眠りたい。僕たちシニアのささやかな願いです。

目が見えなくなったり、耳が遠くなるかもしれない。トイレに間に合わずに漏らしちゃうかも。お口が臭ったらごめんなさい…。

そんな僕らだけど、誰か一緒に素敵な時間を過ごしてくれませんか？



ボランティアさんの力 ちから

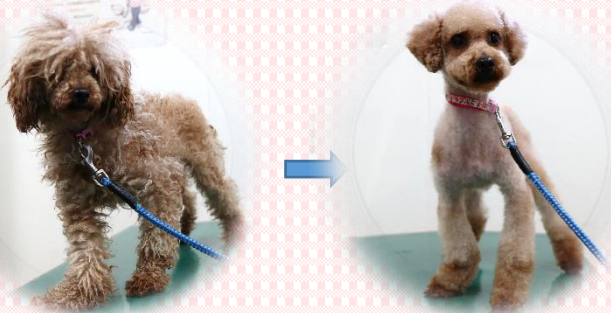


センターがこれまで犬・猫たちを新しい家族のもとに送ることができたのは、センターを支える多くのボランティアさんの力がありました。これまでに、延べ343名（再登録含む）のボランティアさん達が、毎日、犬の散歩やふれ合い、掃除等、世話をしてくださいました。センターに来たときは暗い顔をしていた犬や猫たちも、ボランティアさんの顔を覚え、散歩や遊びを楽しみにして、生き生きとした顔を見せるようになっていきます。

ボランティアの募集は、毎年春頃に行っています。ボランティアを希望される方は年々増えています。愛護センターの業務や犬・猫たちに関心をもって下さる方が増えていることを大変ありがたく感じています。

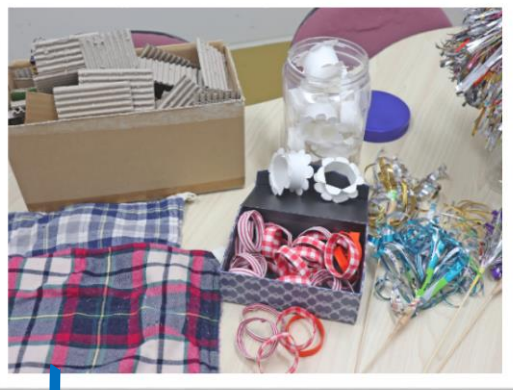
センターで大活躍の ボランティアさん達

シャンプーやトリミングで大変身！



毎日の散歩は犬たちも楽しみにしています！

講習会後の面談では、譲渡希望者の方に丁寧に説明をしています。



子猫用のおもちゃ、ニャンモックもボランティアさんの手作りです！



譲渡会では犬・猫とのお見合いもお手伝いしてくれます。



この「動物愛護だより」も、職員とボランティアさんで作成してきました。

「動物愛護だより」や「里親募集チラシ」の配布にもご協力いただいています。

わんちゃん&ねこちゃん 飼い方の工夫 教えてください！



センターから犬・猫を迎えてくださった方々やボランティアさんに、わんちゃん&ねこちゃんとの暮らしの中で工夫していることを教えていただきました。これから、犬や猫を家族として迎えたいという方は参考にしてみてください。そして現在、わんちゃん・ねこちゃんを飼っている方も、「うちも同じ!」と共感したり、「なるほど!」という発見があるかもしれません。

わんちゃん&ねこちゃんのいるお部屋



上：愛犬のお部屋

右：外出先などどこからでも留守番時の様子が見られるウェブカメラを設置しています。

部屋の一角を3畳くらいの愛犬部屋にして、お留守番の時はそこで過ごします。奥を少し仕切って、ペットシートを敷いたトイレにしています。



猫のケージ

仕切りを作りタオルでカバーをして、なるべく落ち着いて過ごせるようにしています。普段は部屋で自由にしていますが、来客時や掃除中はケージの中で過ごしています。



牛乳パックを切って、トイレのスコップにしています。使い捨てできるので清潔で便利です。

リビングにバリケンを置いて管理しています。



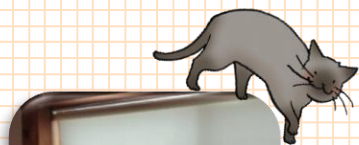
トイレは庭で済ませるため、玄関にタオルを敷き、歩くことで足を拭いたことにしています。



雨の日はウエットティッシュで拭きます。

お家の中で過ごす工夫

猫は高い所が好きなので、家具の配置等で高い所に行けるようにしたり、飽きないように、定期的に配置を変えたりして空間に変化をつけています。



いつでも窓から外が見えるようにしています。

わんこも外が見える方がいいようです。

吹き抜けの高所のサッシの開け閉め用に新築時からキャットウォークがついていたので、猫たちの恰好の遊び場になっています。



猫専用おこたつ

目を痛めないように、内部はランプを使っていません。温度も人間用のものほど高くなく、じんわり暖かい設定になっています。



z
z
z



猫はもぐるのも大好き



現在介護状態。

人間用Sサイズ紙おむつに尻尾の穴をあけたものがジャストサイズです。試行錯誤しながら、介護用のハーネスを製作中。



脱走防止対策



2階のサッシは、庭には降りられないので低いパネルにしています。



玄関に、飛び出し防止の柵を設置しています。

1階の窓やサッシは、メッシュパネルで完全に覆っています。

所有者明示



お気に入りの布地で首輪を作り、色柄を合わせてUVレジンで迷子札を作っています。



世界に一つというだけでなく、飼い主の名前や連絡先もばっちり。文字はレジンに埋め込まれているので、こすっても濡れても消えません。



犬の名前と飼い主の電話番号を刺しゅうしてある首輪を使用しています。



お散歩バッグ

ウンチをとるペーパー、ビニール袋、おしっこを流す水、何かあった時のためのおやつ、懐中電灯が入っています。



お散歩バギー

介護のわんこのお散歩は、バギーに乗って行きます。



避難用キャリー

うちの子は療法食なので避難時に絶対困ると思い必ず1袋入れています。その他、お水・猫砂、ハーネス、ネットが全てこのキャリーに入ります。キャリーは寝室に出してあります。



災害対策



リビングの窓際に、キャリーを出しっぱなしにして、おくろぎスペースにしています。これなら、いざという時すぐにキャリーに入り、避難もスムーズに行えます。



猫用ベスト



通院や災害時の避難に備えて、家にあった布でベストを作成しました。猫の柔らかい体でも脱げないような少しぴったりとしたハーネスもどきです。前足を穴に入れて着用し、背中マジックテープを止めて、リードを引っ掛けられるようにしました。

うちの子自慢フォトコンテスト



センターから卒業したわんちゃん＆ねこちゃんの、家での様子を自慢していただく「うちの子自慢フォトコンテスト」も、令和2年度で4回目を迎えました。



令和2年度 動物愛護センター賞

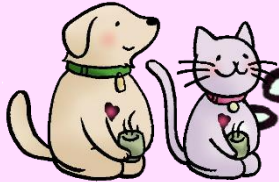
渋川市 Tさん 愛犬の名前 ぴよんぴよん
元気に生活しています。朝夕の散歩が楽しみです。
(譲渡日 平成28年9月27日 16-110)

のどかな風景の中、足取りの軽いわんちゃんと飼い主さんの後ろ姿から、幸せそうな雰囲気が伝わってきました。

その他の受賞作品は、群馬県動物愛護センターホームページで紹介しています。



ボランティアのぼやき



by ボランティア F

子猫の預かりボランティアに登録している。

猫を飼ったこともないのに『子猫に触りたい!』という思いだけで登録したが、子猫を育てるといのは想像以上に大変だった。ミルクを飲んでくれなかったり、家じゅう粗相されたり。特に急に体調が悪くなるのはかなり怖い。とはいえ子猫の可愛さと懐いてくれる嬉しさには比べようもない。かなり楽しくやらせていただいている。今年も猫の出産シーズンが来る。愛護ボランティアとしては子猫たちが収容されてくる現状は決して看過できるものではないが、反面、今年はどんな子と会えるかと楽しみな私もいる。

編集後記

センターが開所して5年!めざましい実績として数字に表れていないかもしれませんが、日々1つ1つの命に向き合い、悩み、多くの方々に支えられてきた成果は、着実にセンターを進化させていると自負しております。これからも、より多くの方にセンターを知っていただき、さらなる進化を遂げたセンターで10周年をむかえられるよう、努力してまいります。 愛護だより編集委員一同



センターでは、動物たちのお掃除に使う
タオルや**新聞紙**等のほか、**ごはん**や**おやつ**、**おもちゃ**等の寄付も受け付けております。
ご協力をお願いいたします。

譲渡前講習会

第1・3木曜日 14時～15時30分
第2・4土曜日 12時30分～14時

※不定期で、開催しない日もありますので、ホームページやお電話でご確認の上、事前にお申し込みください。

お問い合わせ



群馬県動物愛護センター

佐波郡玉村町桶越 305-7

TEL:0270-75-1718

受付:8時30分～17時15分(平日)

飼い主募集中の犬猫情報 随時更新しています♪

→<http://www.pref.gunma.jp/O4/p13200037.html>

